



くすの



令和7年10月31日

第8号

八王子市立高嶺小学校

校長 松久保 雅和

URL <http://hachioji-school.ed.jp/takne>

学校所在地 八王子市北野台四丁目21番1号 Tel 042-635-6366

一人ひとりに寄り添って～合理的配慮で安心・快適な学校生活を～

校長 松久保 雅和

11月7・8日の展覧会に向けて、子どもたちは日々作品づくりやパフォーマンスの練習に取り組んでいます。絵や工作、表現活動など、それぞれの子が自分の力を発揮し、目を輝かせて創作に励む姿から一人ひとりの「よさ」や「素晴らしい個性」が感じられます。展覧会当日には、そんな子どもたちの成長の軌跡をご覧いただけることと思います。

学校には、さまざまな個性や特性をもった子どもたちが通っています。一人ひとりが安心して、快適に学校生活を送るためには、それぞれの子どもの状態や状況に応じた支援、すなわち「合理的配慮」が必要です。たとえば、視力が弱い子どもが文字を見るために眼鏡をかけることは、特別なことではなく、必要な配慮の一つです。また、みんなの前で発言することが苦手な子どもには、紙に書いて考えを伝えてもらい、それを読み取ることも大切な支援です。このような配慮には、椅子の高さを調整する、教材の見やすさを工夫するといった「目に見える配慮」に加えて、「困っている気持ちに寄り添う」「無理に答えを急がせない」「失敗しても温かく見守る」といった「目に見えない心の配慮」もあります。どちらも、子どもたち一人ひとりが安心して力を発揮するために欠かせない大切な支えです。合理的配慮とは、特別扱いではなく、すべての子どもが本来の力を発揮できるようにするための「当たり前の支え」です。そして、それは教職員だけでなく、子どもたち同士、保護者の皆様の理解と協力によって、実現していくものです。

詩人・金子みすゞさんは、「わたしと小鳥とすずと」の中で、次のように詠んでいます。

わたしが両手をひろげても、
おそらはちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう、
地面（じべた）をはやくは走れない。

すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。



それぞれがちがっていて、それぞれが素晴らしい存在です。私たち大人はその違いに目を向け、一人ひとりが自分らしく輝けるよう、これからも寄り添い、支えてまいります。

どうぞ、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

